空腹時血糖値および75gOGTTによる判定区分と判定基準

<table>
<thead>
<tr>
<th>血糖値（静脈血塩値） *1</th>
<th>血糖測定時</th>
<th>負荷後2時間</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>126mg/dL以上</td>
<td>または</td>
<td>200mg/dL以上</td>
</tr>
<tr>
<td>糖尿病型も正常型にも属さないもの</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>110mg/dL未満</td>
<td>および</td>
<td>140mg/dL未満</td>
</tr>
<tr>
<td>場界型</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

*1 血糖値は、とくに記載のない場合には静脈血塩値を示す。
*2 正常型であっても1時間値が180mg/dL以上の場合は180mg/dL未満のものに比べて糖尿病に悪化する危険が高いので、場界型の準じた取り扱い（経過観察など）が必要である。また、空腹時血糖値が100〜109mg/dLには正常域であるが、「正常高値」として、この集団は糖尿病への移行やOGTT時の耐糖能障害の程度からみて多様な集団であるため、OGTTを行うことが勧められる。

日本糖尿病学会編著「糖尿病治療ガイド2018〜2019」P.21より改変 ※発行元 友光堂（2018年発行）